

## 令和3年度第2回天童市教育委員会協議会について（報告）

日 時 令和4年1月27日（木）午前10時から10時36分まで  
場 所 天童市教育委員会 第1会議室  
出席委員 相澤一彦教育長、工藤昭広委員、村山晴香委員、松村昌子委員、  
大内あゆ子委員  
出席者 武田文敏教育次長兼教育総務課長、町田真裕学校教育課長、  
矢萩茂生涯学習課長、大沼敦学校給食センター所長、  
事務局（教育総務課職員）

### 報 告

#### （1）生涯学習課

ア 市立干布公民館改築事業について

### 各課からの連絡

#### （1）教育総務課

- ・小中学校の卒業式・入学式への教育委員出席について
- ・市内の積雪の状況について

#### （2）学校教育課

- ・小中学校の卒業式・入学式の対応について
- ・小中学校の新型コロナウイルスの感染状況について

#### （3）生涯学習課

- ・公民館の新型コロナウイルス感染対応について
- ・教育委員視察研修の中止について
- ・令和4年新成人を祝う会の実施状況について

#### （4）学校給食センター

- ・学校給食の今後の提供メニューについて

### <教育長あいさつ>

---

本日は、議事に関する事項がありませんので、協議会としてさせていただきます。

新型コロナウイルスの感染について、感染に気をつけながら手探りでやっていくしかないと思います。さまざまな行事が延期や中止ということで、どこまで耐えればいいのかと思うところです。

もう一つ耐えることといえば、雪の量が去年よりも多くなっております。道路も高い雪山になっているところもありますので、通行には十分に気を付けたいと思っております。

職員への教育長の年頭の言葉を、コロナ禍の中で集まらずプリントを配付し行いました。今年の干支、寅年は、壬寅と言われ、強いイメージのトラではなく、優しく前向きなイメージのトラだと言われております。虎の子という言葉があるように、大事にする、いつまでも持ち続けていくという意味があるようです。コロナ禍の中で、いつまでも変えず大事に持ち続けいくものは何なのか、また、変えていくものは何なのか、ということを考える年にしていきたいと思っております。

また、教育行政について、教育は地方行政の中では大きな柱の一つであり、誇りを持ってやってほしいと伝えました。コロナ禍でも、本質的な仕事とは何かしっかり捉え、根拠を示しながら成果と課題を明らかにして最善の結果となるよう仕事を進めていただきたいと思っております。

教育振興基金について、平成27年に日新製薬さんから市の教育振興のために2000万円を寄附していただいたことが始まりです。他にも、さまざまな方面から多額のご寄附をいただきました。今年度の基金を活用した事業として、タブレットのタッチペン購入に活用します。二つ目は、英語の力を伸ばすことに使わせていただこうと計画しております。また、寄附者の教育振興のためのさまざまな思いに沿った活用をしていきたいと考えております。基金の活用事業は、各学校長にも提案をしてほしいと投げかけていますので、教育委員の皆さまからもアイデアがあれば、ご意見をいただきたいと思います。

最後に、教職員の人事について、管理職を中心に学校が明るく元気で前向きな経営ができるよう、より良い人事を調整したいと考えております。よろしくお願いいたします。

## < 報告 >

---

### (1) 生涯学習課

#### ア 市立干布公民館改築事業について

(特に意見等はなし。)

## < その他意見 >

---

工藤委員：成人式の対象となる二十歳の方の誕生日は、年度で分けるか。それとも暦年で考えるのか。

生涯学習課長：年度で二十歳の誕生日を迎える方を対象としている。つまり、学校の学年と同じ考え方である。

教育長：その他意見なし。以上で第2回教育委員会協議会を終了します。